

今年の干支は卯。うさぎは、その跳び姿から「飛躍」、
「向上」を象徴することから親しまれてきました。

また、卯年生まれの人、は、親切で忍耐強く、非常に責任
がある人だそうです。

そこで、卯年生まれの4名の方に2023年の年頭にあたり、
抱負やモットーなどをお聞かせいただきました。

干支

浅間 幸広さん

昭和26年3月12日生

税理士

「色々な人との出会いと、その縁を大事にしています。」と語るのは、市内中道に事務所を構える税理士で、北海道税理士会函館支部の支部長も務める浅間幸広先生です。

浅間先生は江別市のご出身で地元の高校を卒業後、東京都内の税務署で12年間勤務され、その後、北海道内各地の税務署及び札幌国税局で勤務され、2011年に退職後、函館市にて浅間幸広税理士事務所を開業されました。

仕事で苦勞された点などを伺うと「税理士になって、税務署時代とまた立ち位置が変わるので、その意識の切り替えに最初は苦勞しました。」と当時を振り返る。

そんな浅間先生の座右の銘を伺うと「座右の銘と少し違うかもしれませんが、聞く耳を持つ、相手の主張に耳を傾けるということは意識しています。十人十色いろいろな人がいますので、協調性を持ちながら、まずは相手の話をよく聞き、その場面に合わせた対応をするように心掛けています。」と語ってくれた。



お休みの日の過ごし方を伺うと、「趣味のゴルフですね。少なくとも週に1回はプレイを楽しんで、ストレスを溜めないようにしています。」と語る。

今後の抱負としては、「2~3年の短いスパンで目標を掲げながらクリアして健康でいることですね。税理士会の会務を通して公私ともに飲む機会が多く、ゴルフやほかの趣味をするにしても健康が何より大事なので、普段の食生活を遣うようにしています。」とのこと。

今年も、益々ご活躍されることを祈念いたします。

今年も、益々ご活躍されることを祈念いたします。

酒巻 冴佳さん

平成11年6月18日生

税務署

「どんな物事や相手の人に対しても、真摯でいられるようにいつも意識しています」と語るのは、令和元年度に入庁された函館税務署の酒巻冴佳さんです。

酒巻さんは、釧路市のお生まれで、市内高校を卒業後、国税職員となりました。

今年の7月に函館へ赴任された酒巻さんに函館への印象を伺うと「何より海が近いのが



よいですね。それと、少し道路が複雑なので、最初は道を覚えられるのか不安でした。」とのこと。

税務署職員を目指すこととなったきっかけを伺うと「高校3年生の時に進路を考える時、もともと法律関係の勉強をしたいと考えていたので、それがきっかけとなりました。」と語る。

上司の木村統括に印象を伺うと「調査にも一人で積極的に向かい、非常にフットワークが軽く頼もしく思っています。」と語ってくれた。

そんな酒巻さんの休日の過ごし方を伺うと「今は、車に乗って市内を走ってみたりしています。また、釣りが趣味なので、休みの日は函館近郊の海に出かけています。もう寒くなってしまったのであまり行けていませんが、釧路にいる頃から釣りをしていたので海が近くてよかったです。」とのこと。

今後の抱負については、「年齢が近い人達は多いのですが、勤務年数は私の方が長いので先輩として恥ずかしくないように、自分もさらに成長していきたいです。」と語ってくれた。

今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。



落合京子さん
昭和26年10月1日生

会員 「絵画展、陶芸展を企画する際には、作家さん達に直接お会いして、出展する物を決めています。日本各地、様々な場所へ行くのですが、勉強にもなるし喜びを感じて仕事をしています。」と語るのは、市内時任町にある株式会社はこだてギャラリーの落合京子さんです。

落合さんは小樽市のお生まれで、中学生の時に父親の仕事の都合で函館へ移住。函館中部高校を卒業後、銀行員を経て音楽教室でエレクトーン教師として働かれていました。また、函館市における国際交流や、演劇文化の波及にもご尽力されてきました。ご結婚された後は、旦那様が創業された株式会社はこだてギャラリーを手伝うようになり現在に至ります。

苦労話を伺うと、「当時は松風町にあったお店の事務を担当するようになったのですが、30年ほど前は月曜日の定休日以外10時から19時まで店を明けていたので営業時間も長く大変だったのを覚えています。」と当時を振り返る。

休日の過ごし方を伺うと、「お花が好きなので、休日はフラワーアレンジなどをして過ごすことが多いですね。」とのこと。



今後の抱負を伺うと、「自分自身のことでもそうなのですが、世の中の情勢的にももう少し落ち着いて穏やかになってほしいな、と思っています。商売にしても何にしても、世の中が落ち着いてないとなかなかうまくいかないことも多いので、良い方向に向かっていく1年になればいいですね。」と語る。

今後もお仕事に、会の活動に、ご活躍を期待いたします。

久保田 智 哉さん
昭和50年5月8日生

青年部会 「仕事をするうえでは、お客様に寄り添いながら仕事をするように心がけています。ユニフォームや作業着などの営業をしているので、お客様の要望に応えられるよう努力しています。」と語るのは、2015年度に青年部会へ入会された函館バス商会株式会社の久保田智哉さんです。久保田さんは、函館市のご出身で、函館西高校を卒業後、青森大学へ進学され、その後函館に戻り2012年に函館バス商会株式会社に入社されました。青年部会の活動で印象に残ったことを伺うと「昨年7月に担当した例会です。新たな『函館のワイン』による地域振興の可能性について学ぶ例会だったのですが、実際にワイン畑に取材に向かうなど、色々大変でしたが、結果として充実した内容にすることができたので、印象深いです。」と語ってくれた。そんな久保田さんの座右の銘は、「意識を変えれば人生が変わる」で、「あきらめずにどうにか行動を起こしていけば、想像していたものとは違いかもしれないが、別の形で結果として現れることがあるので、いつも心に留めています。」とのこと。今後の抱負を伺うと「コロナ禍の影響も徐々にですが、終息が見込まれてきているので、営業活動の充実を図って行きたいです。また、部会に関しては、今まで沢山の先輩達に様々な刺激を受けてきましたが、これからも、部会員の皆さんと色々な活動を通じて新たな発見が出来ればと思っております。今年は40周年という年になりますので盛り上げていけるように頑張りたいです。最後に、会社は営業職員、部会は新入部会員をそれぞれ募集していますので是非お願いいたします。」と語ってくれた。



今年も、仕事にプライベートにご活躍を期待いたします。

賀正



頌春

謹んで新春の御祝詞を
申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。
令和5年 元旦

公益社団法人函館法人会

会長 福西 秀和



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索